

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

ESET NOD32 アンチウイルスの導入により セキュリティと利便性の両立を実現 従業員のPC利用環境の安全性を強化

カメラや複合機といったキヤノン製品に関し、日本国内で幅広いマーケティング活動を担うキヤノンマーケティングジャパン株式会社（以下、キヤノンMJ）。総勢 19,000 人が在籍する同社のグループにとって、従業員が日常利用する PC 環境の安全性を確保することはセキュリティ対策上の重要なテーマである。しかしこれまで使用していたウイルス対策ソフトには、スキャン時に PC の動作が遅くなるなど、いくつかの課題が生じていた。そこで、同社ではグループ内のキヤノン IT ソリューションズ（以下、キヤノン ITS）が販売総代理店を務める「ESET NOD32 アンチウイルス」へリプレース。同製品を採用したことにより、従来の課題を解消するとともに、大規模ユーザー環境下での管理性の確保や新種のウイルスへの対策、問題発生時の対応のスピード化などを実現した。

実現できたこと

- ✓ **ウイルススキャン処理が他の業務ソフトに及ぼす影響を最小限に抑え、生産性とセキュリティを両立できた。**
- ✓ **新種のウイルスが発生した際にも、確実にリスクを排除できる仕組みを実現できた。**
- ✓ **スピーディーな製品サポート対応により、問題発生時にも迅速な対応がとれるようになった。**

▶ 企業プロフィール

Canon

社 名：キヤノンマーケティングジャパン株式会社

U R L：http://canon.jp/

住 所：東京都港区港南2-16-6

代 表 者：代表取締役社長 川崎正己

設 立：1968年2月

従業員数：連結 19,000 名

事業内容：キヤノン製品ならびに関連ソリューションの国内マーケティング

- 世界 180 カ国以上で事業を展開するキヤノングループの一員として日本国内でのマーケティング活動を担い、キヤノン製品を中心に顧客ニーズに合わせた付加価値の高いソリューションを提供する。
- 社員一人ひとりが、顧客視点に立った「顧客主語」と顧客の真のニーズを捉えるための「双方向コミュニケーション」によって、顧客との対話を重ねることで、新たなニーズを発見し、「ものづくりへの参画」を実践。「くらし、しごと、社会」のあらゆる領域で人々の創造力を支援し、顧客に“高い満足”を届けることをモットーに事業を展開する。
- 近年は、IT ソリューション分野に関する事業領域を拡充し、情報サービス企業としての側面を強化。サービス & サポート体制のさらなる整備により、常にソリューションの品質向上に努めている。



IT 本部
IT インフラ部
ネットワークインフラ課
課長
古川 宗徳 氏

「エンタープライズ用途に
応える十分な実力を証明で
きました」

「今回の導入は、『ESET NOD32
アンチウイルス』のエンタープ
ライズ分野への拡販を見据え、
グループ内での実践を通しての
製品のブラッシュアップや活用
ノウハウの蓄積といった意味を
持つ取り組みでもありました。
導入に先立つ評価・検証、さら
には導入後の実際の運用を経
て、この製品が特に管理性の点
でもエンタープライズ用途の
ニーズに十分に実力を備
えた製品であることを実証す
ることができたと思っています」



業務改善の要望

- ▶ グループ 19,000 人の PC 利用に関わるウイルス対策を、より効率的に強化したい。
- ▶ 従来行ってきたウイルス対策に関わる集中管理の手順を踏襲し、管理負荷の増大を回避したい。
- ▶ ESET 製品の企業向け用途における拡販戦略を見据え、社内での実践を通してノウハウを蓄積したい。



導入前の課題と背景

ウイルススキャン処理により業務が停滞

ウイルス対策をめぐる従来の課題をお聞かせください。

「キヤノン MJ グループでは、以前から全社をあげて情報セキュリティ対策に関わる取り組みを継続的に強化してきました。中でも、グループに在籍する 19,000 人の従業員が日常利用している PC 環境における安全性の確保は、最も重要なテーマの 1 つです。そこで当社では、OS のセキュリティパッチやウイルス対策ソフトのパターンファイルの配信・適用などをはじめとする、セキュリティ対策に関わる管理業務をグループ内で一元化。センター側からのコントロールによって、対策がグループ内すべてのユーザーにおいて確実に実施されるような仕組みを整備しています。

こうした運用を続ける中で、クライアント・セキュリティの要となるウイルス対策ソフトに関し、いくつかの課題が浮上してきました。その 1 つがウイルス対策ソフトの稼働中に起こる PC への影響です。当社では、週 1 回の所定の時刻に、各自の PC 上でハードディスク内のウイルスを検出するためのスキャン処理を自動的に開始される設定を行っています。ところが、長期にわたる利用の中でウイルス対策ソフトのパターンファイルの肥大化が進んでいたこともあり、スキャン処理が始まると他のアプリケーションの動作がとたんに遅くなるといった問題が発生してきていたのです。ユーザーによっては、スキャン処理中は PC での操作がほとんど行えない状態になってしまうケースもありました。このように、業務生産性の観点からも切実な課題となっていたのです」



導入の必然性

新種のウイルスへの対応も可能で大きな安心感

そうした問題の解消に向け、どのような取り組みを行いましたか。

「もともと当社では、ウイルス対策ソフトに関し、毎年定期的に検討を行って

おり、優れたものがあれば、積極的にリプレースしていきたいと考えていました。折しも、数年前からグループ内のキャノンITSがESET社の販売総代理店となっていたことから、『ESET NOD32アンチウイルス』にターゲットを絞って製品の評価・検証を行うことにしました」

検証の結果はいかがでしたか。

「検証項目としてまず重要だったのは、当社が標準で採用しているソフトウェアがきちんと動作するかという点。これについては、まったく問題ありませんでした。また、懸念であったスキャン処理中の動作についてもきわめて軽快で、稼働環境の性能低下が極限にまで抑えられているという印象を受けました。

さらに、既知のウイルス検出に加え、ヒューリスティック機能※によって新種のウイルスに対応できる点も高く評価しました。

加えて、管理面に関しては、これまでの運用をそのまま踏襲し、個々のPCのセキュリティや各種設定を一元管理できることが必須条件でした。これについても、主要ウイルス対策ソフトベンダーが提供する製品と同等の機能が実装されており、当社のようなエンタープライズ向けのニーズにも問題なく応えられるものと考えました。以上のような点が決め手となり、ESET NOD32アンチウイルスのグループ内への適用を決定したのです」

※検査対象のファイル内部を解析し、ウイルス的な挙動を行うかどうかを判断する機能

に分け、あるグループはこの期間に行い、別のグループはまた違った期間に実施するといった具合に、段階的に導入を進めていきました。その結果、移行は問題なく進み、作業開始から約3カ月後には、19,000ユーザーすべてのPCへの導入を無事完了することができました」

成果 取り組みの成果 エンタープライズ用途への適合性を実感

導入後の成果はいかがでしょう。

「まず、苦情の声が多かったハードディスクスキャンによる性能低下の問題については、社内アンケート調査の結果、8割以上の従業員から性能が向上したとの回答を得ていま

す。作業を中断する必要もなくなったという声も届いており、業務の生産性とセキュリティ対策を両立できたものと評価しています。

また、管理性に関しても、検証時に評価したエンタープライズ用途への適合性を実践の中で改めて確認し、大規模な企業にも十分に耐えうる仕様であることがわかりました」



クライアント名	ドメイン	製品名	製品バージョン	ポリシー名
Win-78quycepc1	workgroup	ESET NOD32 Antivirus ...	4.0.432	既定のプ
Win-78quycepc2	workgroup	ESET NOD32 Antivirus ...	3.0.684	既定のプ
Win-78quycepc3	workgroup	ESET NOD32 Antivirus ...	3.0.684	既定のプ
Win-78quycepc4	workgroup	ESET Smart Security B...	4.0.432	既定のプ
Win-78quycepc5	workgroup	ESET Smart Security B...	3.0.684	既定のプ
Win-78quycepc6	workgroup	ESET NOD32 Antivirus ...	4.0.432	既定のプ
Win-78quycepc7	workgroup	NOD32	2.x	既定のプ
Win-78quycepc8	workgroup	NOD32	2.x	既定のプ
Win-78quycepc9	workgroup	NOD32	2.x	既定のプ
Win-78quycepc10	workgroup	ESET Smart Security B...	4.0.432	既定のプ
Win-78quycepc11	workgroup	NOD32	2.x	既定のプ
Win-78quycepc12	workgroup	ESET Smart Security B...	3.0.684	既定のプ
Win-78quycepc13	workgroup	NOD32	2.x	既定のプ
Win-78quycepc14	workgroup	ESET NOD32 Antivirus ...	3.0.684	既定のプ

今回導入した「ESET NOD32アンチウイルス」の管理画面のイメージ

他に新しく評価されたポイントはありますか。

「キャノンITSによるサポート対応が非常に充実していることも、運用上の大きなメリットとなっています。例えば、ウイルスの誤検知など何らかの問題が発生した場合も、その対応は非常に迅速です。問い合わせた日のうちの遅くとも3時間以内には何らかのレスポンスが得られるため、業務上の手間やリスクが低減されるとともに、トラブルへの対応がスピーディーに行えるようになりました。また、新種ウイルスの発生などに関する情報が速やかに提供される点も、PCを運用する部門にとっては大きな安心感につながります。特性や対処方法がわかるだけでも、過度な対策を行わなくてすむからです」

工夫 運用の工夫 段階的な移行によりリスクを回避

導入に際して工夫した点を教えてください。

「採用決定後、直ちにグループ内の各社への展開に取り組みました。このとき、移行に関わるリスクを回避しながら、円滑な導入を行うために、綿密な展開手順とスケジュールを定めて臨みました。



キャノンMJグループのPC利用環境に関するインフラの構築・運用管理に携わるITインフラ部コンピュータインフラ第一課の藤原悟氏（左）と鈴木司氏（右）。

具体的には、展開対象となる企業をいくつかのグループ

将来

将来の展望

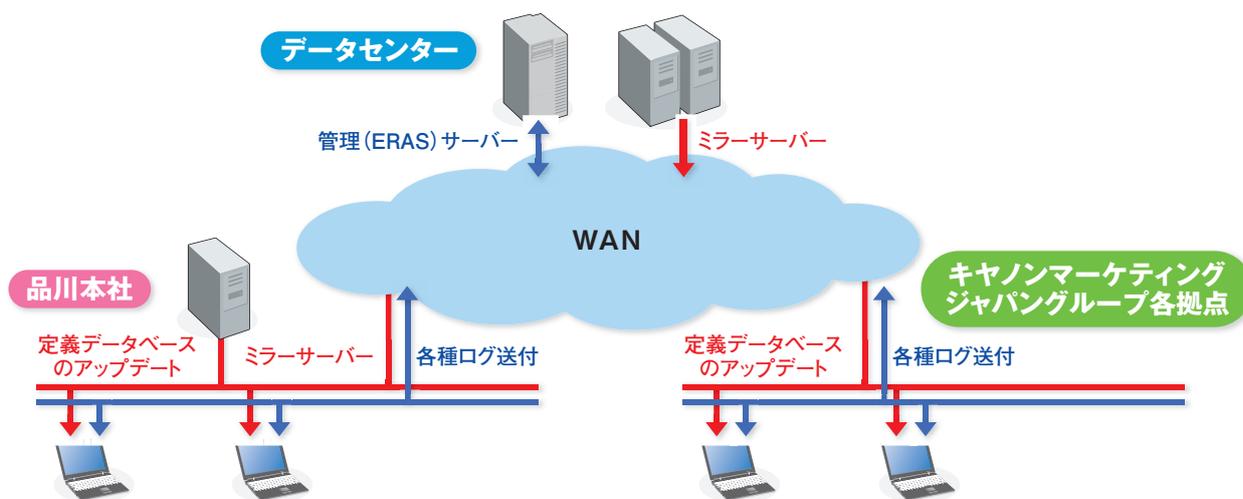
増大するウイルスに万全の備えを

今後の課題や展望についてお聞かせください。

「今後、情報セキュリティに対する社会的な要請がさらに高まる一方、登場してくるウイルスもますます巧妙化・凶悪化してくることが予想されます。そうした中で、

より厳格なセキュリティポリシーに基づく運用への移行を常に繰り返していかなばなりません。今回、より確実にウイルスの脅威を排除しながら、大規模なユーザーに対しても適切かつ迅速に必要なポリシーの適用が行える仕組みを整備できたことは、将来に向けての大きな安心感につながるものと考えています」

改善後の業務フロー



計 19,000 台ものセキュリティ対策を一元管理

キヤノン MJ では、ESET NOD32 アンチウイルスを導入し、センター側の管理 (ERAS) サーバー (ないしはミラーサーバー) から、グループ各社で利用されている全 PC に対して定義ファイルや各種設定情報を自動配信する仕組みを構築。一方、各 PC 側から管理サーバーに対して、ウイルス検知情報などの各種ログが送信される仕組みも整備しており、計 19,000 台にのぼる PC に関するセキュリティ対策の一元管理を実現しています。

ウイルス・スパイウェア対策ソフト「ESET NOD32 アンチウイルス」

ルートキットやマクロウイルス、ワーム、アドウェア、トロイの木馬など、マルウェアの検出をはじめ、フィッシングサイトへのアクセスの抑止や、USB メモリーなどのリムーバブルメディアの利用を制御する機能を搭載。トータルな局面で PC をセキュリティ上の脅威から保護します。(開発元: ESET, LLC and ESET, spol. s.r.o.)



セキュリティソリューション ホームページ

<http://canon-its.jp/>

キヤノンITソリューションズ株式会社 セキュリティソリューション事業部
〒108-0073 東京都港区三田3-11-28 TEL (03) 5730-7198 FAX (03) 5730-7122

●ESET、NOD32は、ESET、LLCならびにESET、spol. s.r.o.の商標または登録商標です。●その他の製品名および社名などは各社の商標または登録商標です。

Canon キヤノン ITソリューションズ株式会社

〒108-0073 東京都港区三田3-11-28

Copyright©1999-2009 Canon IT Solutions Inc. All rights reserved.